



高成長国 インドで積立投資

情報提供資料
2025年3月

～タイミングを意識しない積立投資はインド株式と好相性～

1 経済規模の拡大とともに大きく上昇したインド株式

インドの名目GDPと株価の推移 (名目GDPは2000年～2029年*、株価は2000年末～2024年末)



出所：IMF世界経済見通しデータベース（2024年10月）、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
*名目GDPは2024年以降は予測値、現地通貨ベース。株価はSENSEX指数、現地通貨ベース、トータル・リターン（グロス）。

2 今後も高成長が予想されるインド

名目GDP（国内総生産）ランキング上位5カ国 (2025年、2026年および2028年、単位：兆米ドル)

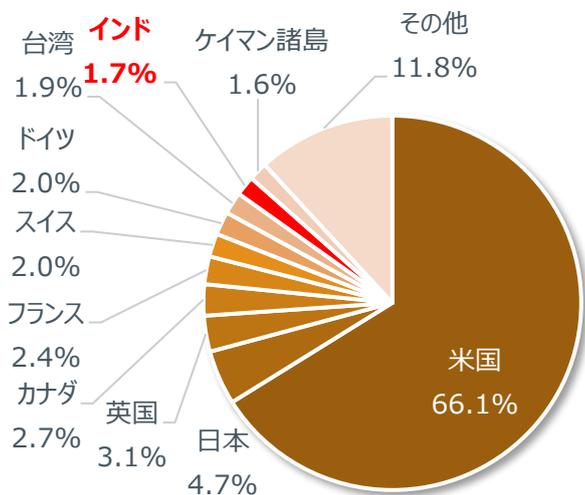
2025年（予想）			2026年（予想）			2028年（予想）		
1	米国	30.3	1	米国	31.5	1	米国	34.1
2	中国	19.5	2	中国	20.8	2	中国	23.3
3	ドイツ	4.9	3	ドイツ	5.1	3	インド	5.7
4	日本	4.4	4	インド	4.7	4	ドイツ	5.4
5	インド	4.3	5	日本	4.6	5	日本	4.9

出所：IMF世界経済見通しデータベース（2024年10月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

4ページの「当資料に関して留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

3 インド株式を組み合わせることでリターンの向上が期待される

代表的な国内投信の全世界株式ファンド 「日本+米国」と「日本+米国+インド」の推移
 のインド比率は低い (2025年1月末時点) (2005年2月末～2025年2月末、月次)

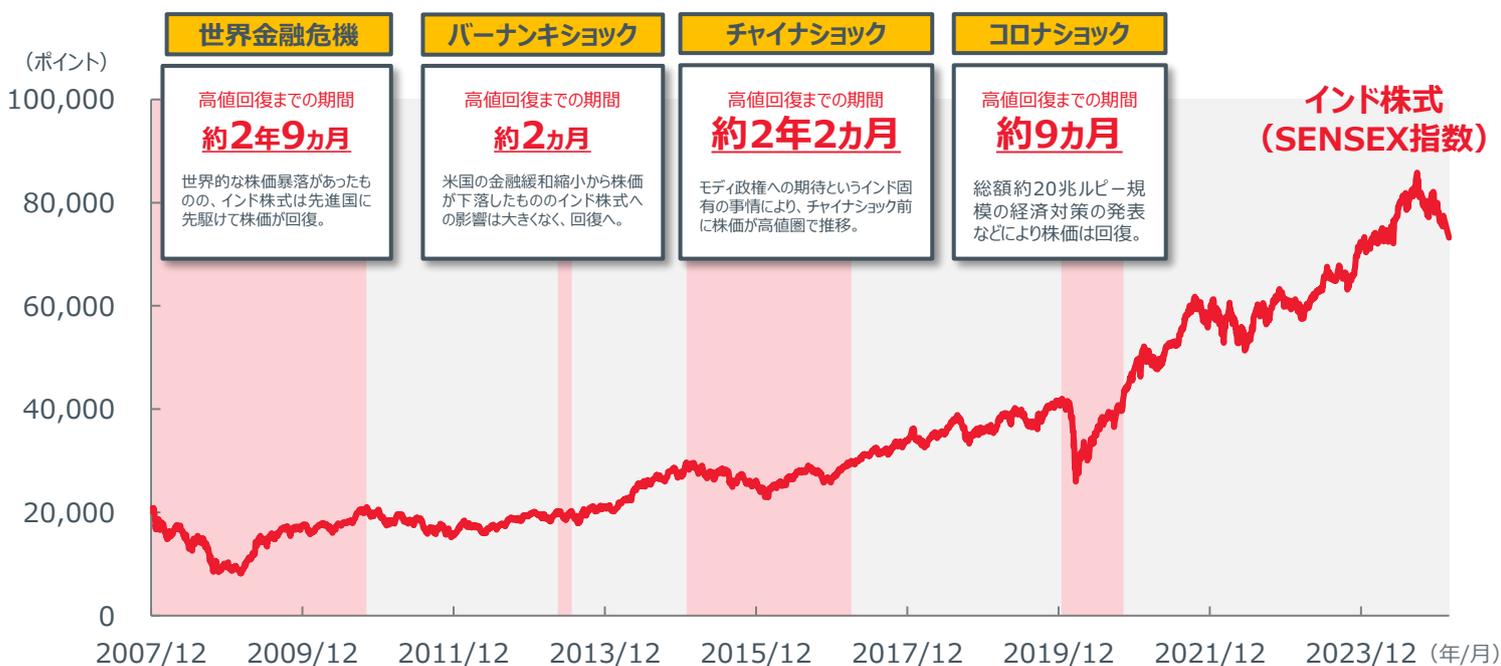


(左図) 出所：一般社団法人投資信託協会、月報のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 ※一般社団法人投資信託協会の投信総合検索ライブラリーにおいて投資対象（資産/地域）：株式/グローバル、インデックスファンド（日本を含むファンドを対象、確定拠出年金向けファンドを除く）のうち、最も残高の大きいファンドを抽出。※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
 (右図) 出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 ※インド：SENSEX指数、米国：S&P500種指数、日本：TOPIX（東証株価指数）、いずれもトータル・リターン（グロス）、円換算、比率は月次でリバランス。
 ※あらゆるコストは控除しておらず、また指数に直接投資することはできません。上記は、一定の前提のもとで計算したシミュレーションであり、実際のパフォーマンスとは異なります。各指数の比率は一例として試算したものであり、推奨する比率ではありません。

4 変動は大きい一方、下落後の株価回復が早かったインド株式

- 世界的なリスクオフ局面など、ショック時にはインド株式も下落した局面が見られました。一方、高い成長が期待されるインドの株価指数は株価回復までの期間が早い傾向にありました。

インド株式（SENSEX指数）の推移と経済ショック前の高値に戻るまでの期間
 (2007年12月末～2025年2月末、日次)

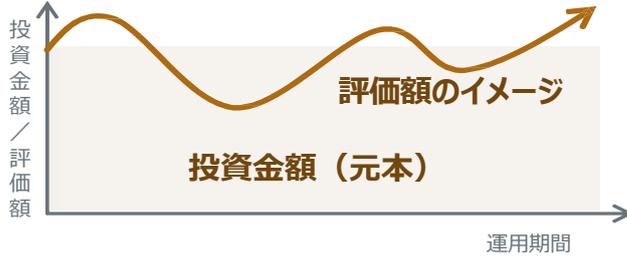


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 ※SENSEX指数はプライス・リターン、現地通貨ベース。

- インド株式に投資してみたいけれど「投資するタイミングが難しい」、「まとまった資金がない」など不安を感じる方もいらっしゃると思います。このような不安を解決するひとつの手段が「積立投資」です。

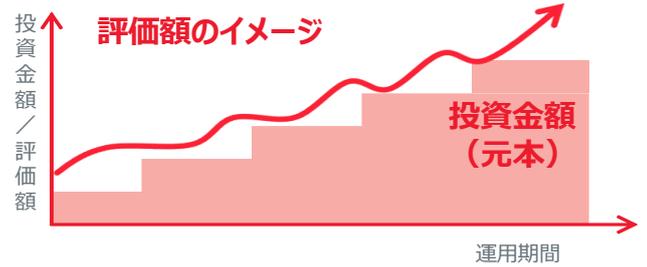
まとまった資金で一度に購入する場合

- 最初にまとまった資金が必要
- 投資タイミングが運用成果を左右
- 評価損益の変動幅が相対的に大きい



積立投資を利用する場合

- 少額での投資が可能
- 投資タイミングを分散
- 評価損益の変動幅が相対的に小さい

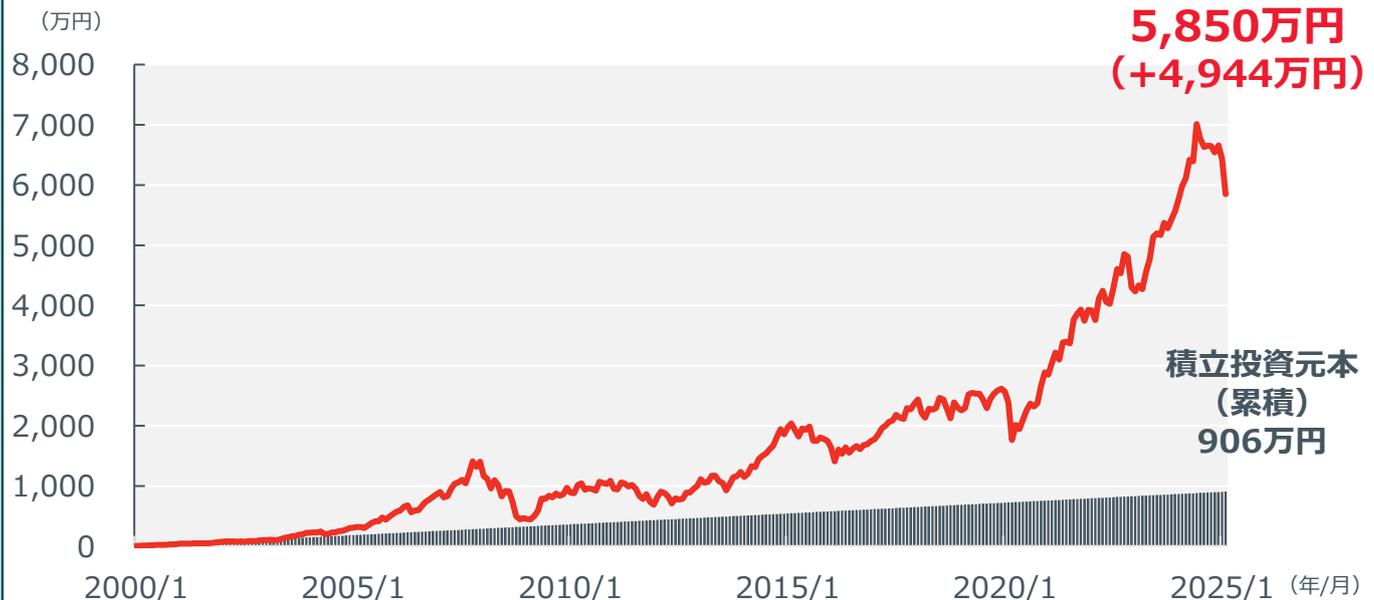


	まとまった資金で一度に購入	積立投資を利用
購入単価	購入時の単価が適用されます (購入口数は投資金額 ÷ 購入時点の単価)	毎月定額で追加購入していくので、 購入単価が平準化されます (購入口数は各月の投資金額 ÷ 単価を累積)
このような方に	まとまった資金をお持ちの方 投資タイミングをとらえて投資をする方	少額から投資を始めたい方 これから資産を形成していきたい方 投資タイミングを意識せずに投資をしたい方

評価額は投資金額（元本）の時価評価額の推移をイメージしたものですので、必ずしも利益になるわけではなく、損失を被る場合もあります。上記は、投資のイメージをご理解いただくために、評価額および投資金額（元本）の推移を単純化して記載しております。全てのケースについて網羅したものではありません。

インド株式を毎月3万円積み立てた場合のシミュレーション

(2000年1月末～2025年2月末、月次)



出所： Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 ※インド株： SENSEX指数、トータル・リターン（グロス）、円換算ベースを使用。
 ※毎月末に当該指数を3万円ずつ追加購入したと仮定（購入時の手数料、税金等は控除していません）。
 ※当シミュレーションは一定の前提のもとで計算したシミュレーションであり、実際のパフォーマンスとは異なります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。
 実際上記指数には直接投資できません。

☑ インド株式投資のポイント

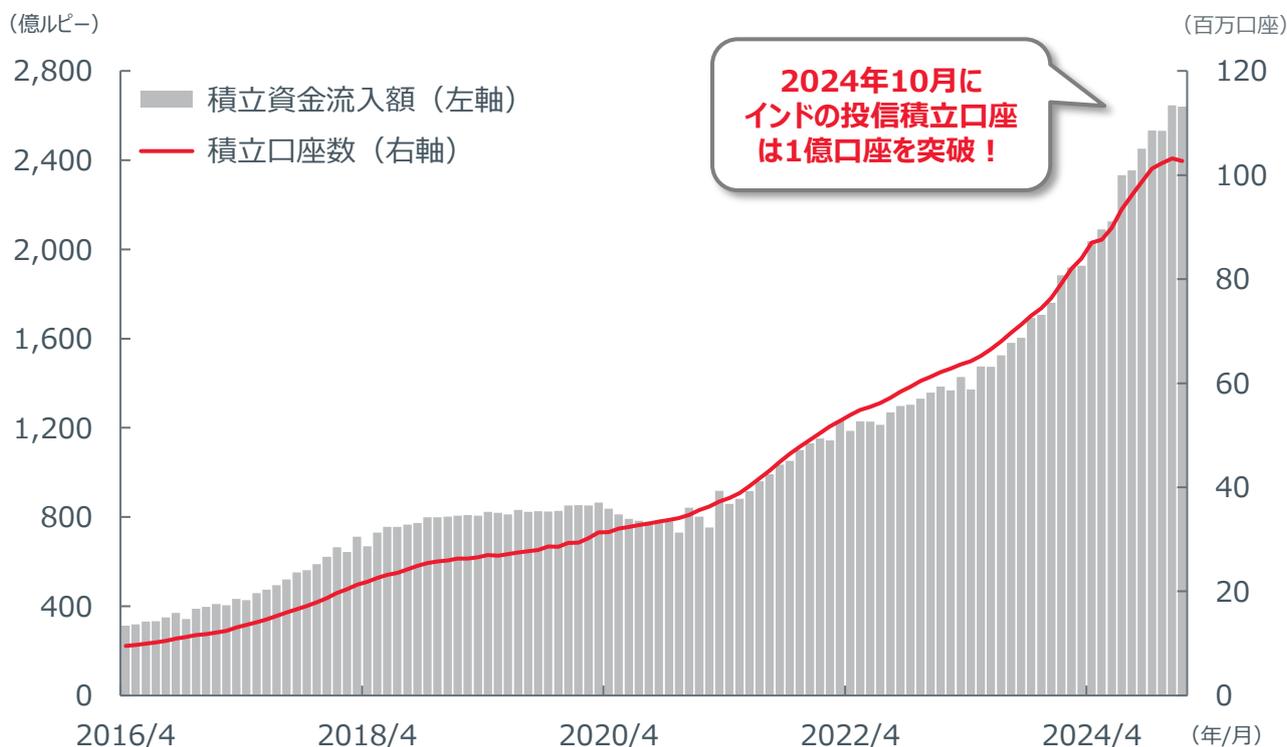
- ✓ 今後も**高い経済成長に伴う株価上昇**が期待されます
- ✓ 米国や日本の株式にインド株式を組み合わせることで**リターンの向上**が期待されます
- ✓ 値動きが大きい**ため、タイミングを意識しない積立投資と相性の良い資産**です

(ご参考) インド人も積立投資が好き？ 拡大するインド国内投資家による積立投資

- インド国民の資産運用への関心の高まり等を背景に、インド国内の株式投資信託を通じたインド株式への純流入額は増加傾向にあります。
- 特に積立投資を通じた流入が加速しており、インド株式を下支えする要因の一つとなっています。

国内投資家によるインド投信（積立）への流入額と口座数

(2016年4月～2025年1月、月次)



出所：AMFI（インド投資信託協会）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

[当資料に関しご留意いただきたい事項]

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することをご遠慮ください。

TOPIX（東証株価指数）の指数値及びTOPIX（東証株価指数）に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。